

2 ディプロマ・ポリシー

I 学部の学位の方針

1. 各学部に所定の年限在学し、全学ならびに学部の教育理念と教育目的に沿って設定された専門教育プログラムや授業科目を履修して、基準となる単位数を修得することが学位授与の要件である。
2. 文理融合リベラルアーツ教育、外国語教育、スポーツ健康教育、情報教育からなる教養教育と、各学部の特性に応じて編成された専門教育プログラムや授業科目をともに修得していることが、学位授与の基準となる。

II 学部の学位授与の方針

文教育学部

1. 所定の年限在学し、コア科目の中から所定の単位数を修得し、さらに、本学部の教育理念と教育目標に基づいて開設された専門教育プログラムと専門科目から所定の単位数を修得した者に、学士の学位を授与する。
2. 修了に際しては、教員の指導のもとに卒業論文ないしは卒業研究のテーマを決定し、専攻する学問分野の手法に則り、卒業論文ないしは卒業研究を完成することが求められる。
3. 人文・社会科学系の学問を中心とした学術研究のための確かな基礎、国際的に通用する問題発見・解決能力、情報処理能力、コミュニケーション能力が着実に習得されていることが修了の要件である。

(1) 人文科学科

哲学、倫理学、美術史学、歴史学、地理学を研究するのに必要な基礎知識と専門知識を体系的に習得した上で、人間の文化に対する深い洞察力を身につけていることが修了の要件である。

(2) 言語文化学科

日本語・日本文学、中国語圏言語文化学、英語圏言語文化学、仏語圏言語文化学のいずれかにつき、当該言語を習得、また体系的に理解し、当該言語による文学・芸術に対する基本的な研究方法を習得していることが修了の要件である。

(3) 人間社会科学科

社会学、教育科学、心理学の幅広い基礎知識、深い専門的及び応用的知識を習得していることが修了の要件である。

(4) 芸術・表現行動学科

音楽や舞踊に代表される芸術及び表現行動を理論的に分析するための基礎的能力と、理論的成果を実践に適用して現代的問題を発見及び解決するための実践的能力が着実に習得されていることが修了の要件である。

(5) グローバル文化学環

文化を越えた協働を実現するためのグローバル文化学についての所定の単位数を取得し、グローバル化の進む社会で求められる知識、スキル、倫理を習得することが修了の要件である。

理学部

1. 学則の定める所定の修了条件を満たしたものに対して理学部学士課程の修了を認める。
2. 理学部各学科が定めた教育課程を履修し、人類の英知が蓄積された理学の理論や知識を深く知り、さらに新たな謎に挑むための柔軟な思考力と優れた問題解決能力を身につけ、人類社会に対して多大な貢献が期待できる人材に対し、理学部学士課程の修了を認める。修了に際しては、卒業研究（数学講究もしくは特別研究）を行わなければならない。教

員の指導のもとにテーマを選択し、自然科学の方法論に則って主体的に研究し、その成果を発表しなければならない。

(1) 数学科

- ① 学則の定める所定の修了条件を満たしたものに対して理学部数学科学士課程の修了を認める。
- ② 学科が定めた教育課程を履修し、基礎的な数学的素養と論理的に問題を捉え解決する能力が身に付いていると判断するに足る十分な科目を修得できたものに数学講究の受講を認め、さらに、規定の単位数が修得できた上で最終試験に合格したものに学士課程の修了を認める。

(2) 物理学科

- ① 学則の定める所定の修了条件を満たしたものに対して理学部物理学科学士課程の修了を認める。
- ② 学科が定めた教育課程を履修し、物理学の探求によって還元論的かつ多角的な観点を持って問題解決能力の向上を達成し、社会の各分野において活躍が期待できる人材に対して、学士課程の修了を認める。

(3) 化学科

- ① 学則の定める所定の修了条件を満たしたものに対して理学部化学科学士課程の修了を認める。
- ② 学科が定めた教育課程を履修し、原子・分子をなかだちとして自然科学のあらゆる分野と密接に関連した化学の理論や知識を深く知り、さらに新たな謎に挑むための柔軟な思考力と優れた問題解決能力を身につけ、人類社会に対して多大な貢献が期待できる人材に対し、学士課程の修了を認める。

(4) 生物学科

- ① 学則の定める所定の修了条件を満たしたものに対して理学部生物学科学士課程の修了を認める。
- ② 学科が定めた教育課程を履修し、「生き物」の複雑で多様な生命現象の理論や知識を深く知り、さらにより広く高度な応用的または先進的な知識、理解力、論理力、実践手法を身につけ、人間社会に、より豊かな知の財産を築ける人材に対し、学士課程の修了を認める。

(5) 情報科学科

- ① 学則の定める所定の修了条件を満たしたものに対して理学部情報科学科学士課程の修了を認める。
- ② 学科が定めた教育課程を履修し、プログラミングや数学等、情報科学の基礎知識と手法を広く学んだ上で、特定の数理領域もしくは応用領域において、科学的方法論に基づく情報科学の研究を経験し、学術的成果とそこで培った能力を広く社会に還元しうる人材に対し、学士課程の修了を認める。

生活科学部

生活科学部は、自然・人文・社会科学的教養に基づき、人間と生活についての総合的な学識を身につけ、生活者の立場から、社会で活躍できる優秀な人材を養成することを目的としている。

課程を修了し学位が授与されるためには、学生には以下のことが要件として求められる。

1. 生活科学部の学生は、所定の期間在学し、生活科学部履修規程に定められた科目群から所定の単位数を修得しなければならない。
2. 学生は、教員の指導のもとに卒業論文のテーマを決定し、資料・データの収集を行い、学問の手法に則り、論理的な分析を行い、自ら卒業論文を完成することが求められる。卒業論文は、審査によって合格することが必要である。

(1) 食物栄養学科

生活者視点に立った食と健康の専門家、とくに食物と栄養に関する科学的視点と実践力を身につけた指導的人材の養成を目標としている。これを実現すべく、学科が定める栄養士免許取得および管理栄養士国家試験受験資格に必要な全単位を含む所定の単位を修得し、食品栄養科学分野に関する幅広い知識とその実践・応用能力を身につけたことが認められた者に、学位が授与される。

(2) 人間・環境科学科

生活者たる人間と環境との相互作用に関する理解を備えるとともに、生活面での諸課題に対して科学的手法を応用することで、人間と環境が共存しうる方策を考案し、かつ、実社会にて実践できる優秀な人材を養成することを目的とする。これを実現すべく、学科の教育理念・目標にそって設定された授業科目群を履修し、理工系の基礎学力を身につけ、所定の単位を修得した者に、学位が授与される。

(3) 人間生活学科

生活者の視点から、個人の発達や心の健康、人間と社会の関係、生活と文化について、多角的な視点と複合的なアプローチを駆使し、人間と生活を総合的に理解し探求する力を備えた優秀な人材を養成することを目的としている。これを実現すべく、学科の教育理念・目標にそって設定された授業科目群を履修し、人文社会科学系の基礎学力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位が授与される。